【協働実践助成】



【重度障害者等*の就労の為のシェアオフィス事業】

～事業実施報告～

NPO法人UBUNTU



一般社団法人MOTTO

※重度の障害のある方、医療的なケアが必要な方々、重複障害の方々などを以下、「重度障害者等」と表記します

1　事業実施団体について

事業実施団体の概要

NPO法人
UBUNTU

UBUNTU（ウブントゥ）
「私はあなたの中に価値を
見出し、あなたは私の中に
価値を見出す」という言葉。

Mission
誰もが自分のライフデザイナーになれる街を創る

福祉サービス

ぷれ・すと

児童発達支援・放課後等デイサービスとして活動し、
夏は海や山、冬はスキーなどのアクティビティや
陶芸・染め物体験・県外へのおでかけなど
ごっこ遊びでは味わえないリアルな体験を積み重ねています。



完全マンツーマン対応・同性介助を徹底しており、
子ども達の個別性に合わせた活動ができます！

マイ・スル

居宅介護・重度訪問介護・同行援護・行動援護・移動支援
といった訪問系サービスを提供しています。
ご自宅での食事・入浴、公共交通機関を使ったお出かけなど、
個々のニーズ・やりたいことの実現に合わせたプランを考え、
ご本人が充実した時間を過ごせることで、
ご家族の時間の充実にも繋がるなど、
家族支援も含めたサービスを行っています。



重度障害者等就労支援特別事業を活用して、
個々の好きなことや強みを発揮した
就労のサポートも行っています！

自主事業

JOB-DESIGN事業

「障害があると働けない」という先入観やイメージを
壊し、世の中の「普通」を、あべこべにする存在として
年齢・国籍・障害の有無を問わず「あべこべ店員」が活躍する
マルシェや実践的な職業体験の場を創出しています。
（あべこべマルシェ・あべこべワーク）
また周囲や地域の方を巻き込みながら、アートや
ワークショップブースとして出店したり、
イベントの企画運営・コーディネートすることも行っています。



手輪プロジェクト・福祉学習

地域の方々に『障害とはなにか？』を
考えてもらえるような場やきっかけづくりを行っています。
月１回開催している手輪プロジェクトでは、
『コミュニケーションとは何か？』を考えてもらえるように、
福祉学習では主に小中学生に向けて、
『障害＝できない』ではなく、『どうやったらできるか』を
手話を通して伝える取り組みを行っています。



https://ubuntu-sendai.monster/

MOTTO
一般社団法人モット

全ての人が

より豊かな毎日を送れるように

自分を磨くサポートをします

やりたいことが“もっと”出来るように。

□障がい児運動スクール事業
　・MOTTOスイミングスクール（知的障害児・者）
　・MOTTOパラスイムクラブ
　・MOTTO陸上部
　・ICSMOTTOトレーニング部
□障害児通所事業
児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援
「らいぶMOTTOクラブ」
□ユニバーサルイベント事業
ユニバーサルビーチ・ユニバーサルスノーパーク他
□重度障害者就労支援対象シェアオフィス事業
「Co-minka MOTTO 」

https://a-motto.jimdofree.com/

２　令和７年度事業の実施内容

（１）課題

・重度障害者等は年々増加傾向にある
・重度障害者等と関わりのある市民は未だ少ない
・重度障害者等が働くための制度がない、または活用されていない
・企業側が重度障害者等を雇用しても、個々の障害特性やケアの度合いに合わせた仕事を抽出することが難しい現状がある
・障害のある方のための就労支援事業所は増加しているものの、重度障害者等が利用できるところはほとんどない
・「働く」ということのイメージを積み上げていくことが難しく、「働けるイメージがない」「そもそも働くことを考えたこともない」という当事者ご家族の声がある
・重度障害者等が企業や個人事業で働いている姿を見る機会が少ない

（２）事業の目的

➢　いわゆる三方良し(売り手によし、買い手によし、世間によし)が実現できる

[重度障害者等、当事者軸]
自分に合った仕事を見つけることができる、職業選択の自由度が増す 金銭的にも、社会的にも自立することができる
[企業軸]
単なる下請けが増えるということではなく、これまで接点や関わりのなかったであろう、重度障害者等との関りから、パラダイムシフトや化学反応が起きる
[地域軸・社会軸]
重度障害者等でも働くことができる 人材不足、人口減少の中で、新たな仕事の担い手が増える

2　令和７年度事業の実施内容

（３）令和７年度事業の目標と実績

- 事業計画書等に記載してある事業目標を記入してください。
- 審査結果通知時の、審査会意見への対応状況を記入してください。

■まずは１名、シェアオフィスでの就労が定着したところで、次のユーザーの募集を開始できるように、サポートする。

■メディア等にも取り上げていただき、シェアオフィスを利用して働く重度障害者等に対して仕事を提供あるいは提携する企業・取引先を10 以上、創出する

■シェアオフィスを利用して働く重度障害者等の事業を黒字で着地するよう、マネジメントする

➡シェアオフィスでの就労が定着。次のユーザー獲得に向けて、2026年度も事業を進めていく。特にシェアオフィス事業や障害のある方々の個人事業の取り組みを外部にもっと発信したり研修を開催していく。

2025年度のシェアオフィスユーザーに対しては、取引先も固定委託業務が6件、スポット業務が7件、計13件の取引が創出された。商談までで実際に業務には至らなかったものも5件ほどあったが、目標値には到達できた。黒字着地成功。

<附帯意見>

●シェアオフィスを利用する方の声を事業の磨き上げに活かしてください。

●シェアオフィス利用者が個人事業主として働くことについて、連携する税理士事務所、社会保険労務士事務所からの専門的なアドバイスを受けながら事業を進めてください。

➡ユーザーの声を第一に、本人の意欲を広範囲に影響を与えられるよう努めた。専門的アドバイスも大いに取り入れることができた。社会保険関係は、収益上、具体的にレクチャーを受けるほどではなかったが、事業を見守っていただいた。

<その他参考意見>

●シェアオフィスとしての運用と地域での活用が同じ空間にあることが肝要となるので、他の利用者との新たな交流が生まれたり、障害への理解を深めたりするきっかけとなることが期待されます。交流により生まれる副次的効果についても、意識しながら事業を進められることを期待いたします。

➡ 出向する業務はもちろんのこと、シェアオフィス事業のこと自体を知っていただき、見学に来てくださった方も多くあった。

2　令和７年度事業の実施内容

（４）事業の実施体制

NPO法人UBUNTU

- 菅谷拓斗（副理事長）
- 仕事創出、ヘルパー派遣、企業とのマッチング



枠や常識にとらわれない事業運営、重度・重複、医療的ケアにも対応したサービスを実施できる

一般社団法人MOTTO

- 斎藤義久（代表理事）
- シェアオフィス整備、仕事創出



福祉制度の枠組みを超えてサービス提供できる。UBUNTUと共同企画実績やアライアンス関係がある

タスキー税理士法人

- 色川大輔（取締役）
- アウトソース業務の創出、経理に関するアドバイザー、同業への仲介

会計業界でDX化を推進しており、UBUNTUの顧問委託先。
経営コンサル等も行うことができる

社会保険労務士事務所ROOTs

- 小林徹夫（代表）
- 個人事業の社会保険や労務管理に関するアドバイザー、農業支援

農業と社会保険労務士事務所の二刀流の事業展開。業務委託元としても、労務の助言もいただける

TASKY タスキー税理士法人

社会保険労務士事務所 ROOTs No roots, No success

2　令和７年度事業の実施内容

（４）事業の実施体制

オーダメイドな働き方の提案へ

シェアオフィスの整備と運営



放課後デイ卒業生の
進路斡旋・情報提供
個人事業主として働くための移行

場の提供

放課後デイ

学校

連携



個人事業主

通勤・出張付き添い
業務補助
通訳

第三者
評価

業務委託
仕事の受発注
労務・経理助言

業務の抽出
新規取引先開拓補助

就労支援員の派遣
(NPO法人UBUNTU
マイ・スル)



JOB-DESIGN事業
業務のコンサルテーション
(NPO法人UBUNTU)

業務の抽出
新規取引先開拓補助

企業・団体

２　令和７年度事業の実施内容

（５）事業スケジュールについて

➢ 事業スケジュールを記載してください

・2025年4月　シェアオフィス受入れ開始
　＆就業サポート開始
　業務の受注開拓（4件）
　見学対応
・2025年5月　業務の受注開拓（3件）
・2025年6月　業務の受注開拓（1件）
・2025年7月　youtube取材
　業務の受注開拓（1件）
・2025年8月　業務の受注開拓（3件）
・2025年9月　業務の受注開拓（1件）
・2025年10月　業務の受注開拓（1件）
・2025年11月　業務の受注開拓（2件）
・2025年12月　業務の受注開拓（1件）
・2026年1月　業務の受注開拓（1件）
・2026年2月　業務の受注開拓（2件）
・2026年3月　業務の受注開拓（4件）
　事業精算、総括、次年度へ

（６）使用経費について

➢ 事業収支を記載してください

事業費予算総額　165.1万円
　・仙台市助成金　105.8万円
　・団体自己資金　59.3万円

支出総額　165.1万円

内訳
・人件費　48万円（シェアオフィス事業管理の人件費）
・報償費　12万円（ジョブ研修12回）
・旅費　2.6万円（37回分）
・消耗品費　6.1万円（衛生物品、事務用品等）
・印刷製本費　3.8万円（コピー代等）
・通信運搬費　5.7万円（インタネット利用料）
・使用料及び賃借料　36万円（シェアオフィス家賃）
・その他の経費　6.8万円（シェアオフィス物品）
・助成対象外経費　44万円



Co-minka
（シェアオフィス）



2025.4月～シェアオフィス稼働開始
毎週木・金曜日：個人事業の受け入れ（～2026.3月）
随時：見学受け入れ、その他出張訪問による事業プレゼン等を実施（～2026.3月）

3　実施した取り組みの紹介①（令和7年度事業）

（１）シェアオフィス事業管理人業務（ジョブ研修の実施）

➢ 実施した取り組みの内容を具体的に紹介してください。

「ジョブ研修inタスキー」の実施

◆日時：2025/4/17、5/29、6/26、7/31、8/28、9/25、11/27、12/25
9：30-10：00
◆会場：タスキー事務所
◆参加人数：2-3人(うち講師2名)
◆内容
・講師（taskyさん）元を訪ね、ジョブ研修を実施
・スキャンの基本手順や情報の取り扱い方、トラブルやミスの伝達、書類の分別など業務におけるPDCA全般

◆反省点等
・固定の指導者をつけてくださったのがありがたい配慮だった
・会計の分野は専門的で、スキャンの単純な部分だけでなく、
・実際の業務を半年行った上での振り返りも設けることができた

➢ 実施した取り組みの内容を具体的に紹介してください。

「ジョブ研修inKAWADATE」の実施

◆日時：2025/5/15、10/28、12/11　10：00-10：30
◆会場：KAWADATE事務所
◆参加人数：4人（うち講師2名）
◆内容
・講師（KAWADATEさん）元を訪ね、ジョブ研修を実施
・シュレッダー業務の操作、注意点、危険の配慮、業務の報告など

◆反省点等
・特に安全面のことであるため、普段一緒についている人以外からのレクチャーはメリハリがついて効果が大きく感じた
・タスキーでの研修同様、実際の仕事の場面で研修をOJT形式で行わせていただくことができ、ご本人にとってわかりやすい形で提供できた

➢ 実施した取り組みの内容を具体的に紹介してください。

「ジョブ研修inファブリハ」の実施

◆日時：2026/2/12
11：00-12：00
◆会場：Co-minka事務所
◆参加人数：3人（うち講師1名）

◆内容
・講師（伊藤さん）を招き、ジョブ研修を実施
・主要な業務を行っている際の姿勢や使いやすい道具についてレクチャーをいただく。

◆反省点等
・今後こういう道具が使えそうというアイディア出しができた
・実際に業務の風景を見ながら行えた点は良かったが、もっと年度の序盤に行うか、タスキーなどに同行いただいて実施する方法も検討すべきだった

3　実施した取り組みの紹介①（令和7年度事業）

（１）シェアオフィス事業管理人業務（ジョブ研修の実施）

タスキー



特に会計作業は指示も細かく、時に専門的な知識も必要となるため、重要なのは不明点や疑問点があったら、「勝手に進めないで聞く」というところ。

ご本人さんも、画像を確認して、手を止めてスタッフに確認することができるようになってきた

ファブリハ・ネットワーク



KAWADATE



シュレッダー作業は、作業自体はシンプルでありながら、定期的にゴミがいっぱいになったり連続運転すると機会に休息が必要になる場合がある。また機械自体に手を巻き込まないような注意をしっかり伝達いただいた。

研修後には、意外と難しい自分なりのタイミングで休憩が取れるようになっていた

３　実施した取り組みの紹介①（令和7年度事業）

（２）シェアオフィス事業管理人業務（外部へのプレゼンテーション）

➢ 実施した取り組みの内容を具体的に紹介してください。

「商談」「シェアオフィス事業の発信」の実施

◆日時：2025/4/1～2026/3/27のうち、計37回
◆会場：相手企業・団体の事務所、Co-minka、UBUNTU事務所、宮城野文化センター
◆参加人数：延べ145人

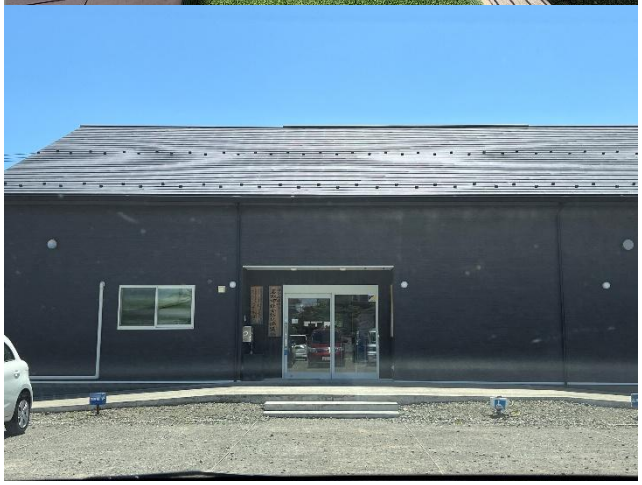
◆内容
・興味のある方や、知っていただきたい方を招くまたは訪問し、講演会や説明の実施
・中間報告の資料を中心に活用し、事業について30分ほどプレゼンテーション
・質疑応答、協働できる点のアイディア出し

◆反省点等
・制度説明だけでは限界があり、具体的なニーズやマッチングを想定した方がイメージが湧きやすい（どんな人が、どんな仕事ができるか）
・通常業務をこなしながら、＋αで管理人業務をこなすことになるため、プレゼンテーションの資料作成や行ける数に時間の制約があった（そういう意味で2月に行った自主プレゼンテーションのような場をもっと増やす必要がある）

3　実施した取り組みの紹介①（令和7年度事業）

（２）シェアオフィス事業管理人業務（外部へのプレゼンテーション）





■行政関係：
−大和町役場
−名取市相談支援センター
−船岡支援学校
−仙台市社会福祉協議会
−地底の森ミュージアム
他

■企業・団体関係：
−宮城県中小企業家同友会
−今野不動産
−RVDシステム
−伊達ぽっど
−ノキシタ
他



■自主プレゼンテーション会

シェアオフィス事業・重度障害者等就労支援の活用についてプレゼンテーションを行ったり、出張して取り組みについて発信を行った
この取り組みに興味を持ってくださったのは、業務の抽出をいただく企業や団体のみならず、学生を送り出す学校、サービス利用をコーディネートする相談員、実際に将来サービスを利用したいユーザーとその家族など多岐に渡った

3　実施した取り組みの紹介②（令和7年度事業）

（3）シェアオフィスユーザーのCo-minka業務



Urano.mono
竹炭づくり･農作業



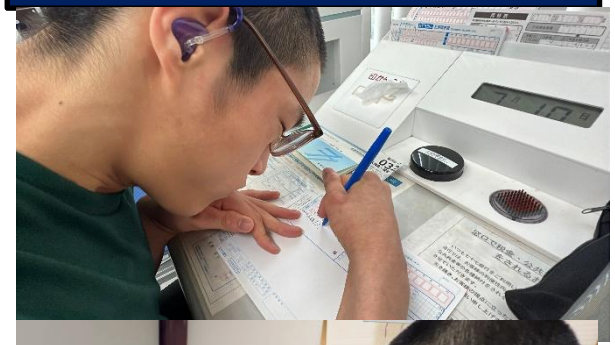
最初は安価な備品の購入や設備投資から始めて、本人の適性や気持ちを汲み取りながら、徐々に本格的な事業や業務に切り替えていく

シェアオフィス
個人事業主
業務一覧❶

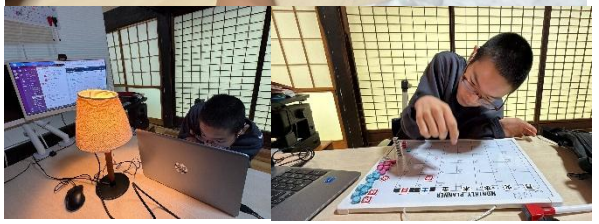


Urano.mono
縫製作業

Urano.mono
事務作業、請求、経理、拠点整備
会議、商談、メール･SNS連絡、広報
など

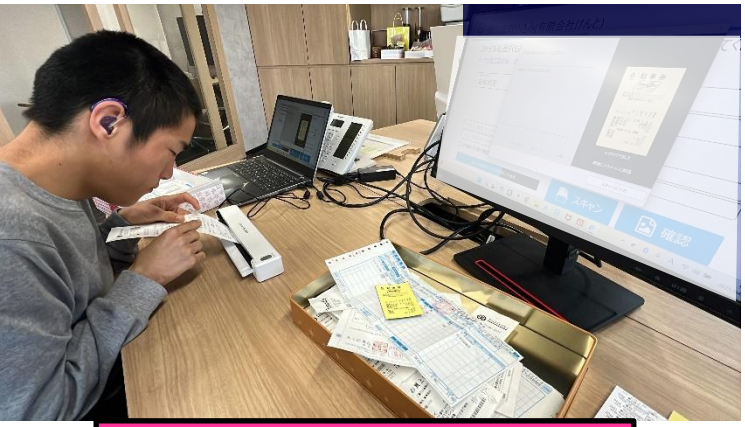






3　実施した取り組みの紹介②（令和7年度事業）

（3）シェアオフィスユーザーの出向・コラボ業務



Urano.mono×会計事務所
レシートスキャン業務

提携先：6件
（タスキー、KAWADATE、いのまた事務所、社協、MOTTO、UBUNTU）

スポット業務：7件



Urano.mono×飲食店
ショップカード封入業務



Urano.mono×議員事務所
事務所番業務



Urano.mono×パラスポーツ
バリアフリービーチの運営補助
パラ陸上普及業務



Urano.mono×スポーツ団体
福祉啓発業務

4　事業の成果と今後の展開

事業の成果と今後の展開について

➢　事業目的や目標に対して、どのような成果があったか各メニューごと以下の点を踏まえ、記載してください。
■協働実践助成　〇２団体の協働による成果について具体的に記載してください。　(1団体ではできなかったこと、協働によるメリット、相乗効果など)
➢　反省点や新たに見つかった課題等を踏まえ、今後どのように進めていくか記載してください。

■1団体ではできなかったこと

✓　UBUNTUとMOTTOそれぞれから見たシェアオフィス利用者の強みや特性、各団体のネットワークを生かした業務抽出をすることができ、かつ事業の黒字着地ができた（月2万円程度の黒字の1年継続に成功）
✓　発案からパイロット的に今回の事業をまずは走らせてみるというクイックさがあったからこそ、人と場所の整備に分けて効率的に事業を進めることができ、役割分担も明確にできた.
✓　UBUNTUとMOTTOそれぞれに、このプロジェクトの働き方について知りたい、やってみたいというニーズがそれぞれに届き、実際に利用開始される方もいた（仙台市若林区の方）

■協働によるメリット・相乗効果

✓　業務委託元が障害のある方々を受け入れるには？と前向きに考えてくださるところが多かった
✓　人と場所の条件の中で、特に「人」がボトルネックになりがちな中で、今回、私たち以外でのヘルパー派遣をしようという事業所が現れ、仕組み化していく準備が整い、中間報告でお伝えしていた、最終的にコアの部分以外は手放していくというところに、社会が適応した（コアは相談やコンサルティング的なところのみ）
✓　「重度障害者等就労支援特別事業」が2026.2月の段階で仙台市は6例と、我々以外に4例増えているとうかがった

■反省点や新たに見つかった課題

✓　今回、1例実装していた案件が他事業所のヘルパーに移行することが年度末に決まり、うまく業務が引き継げない点があったため、スムーズに引継ぎができるようなルール作りが必要だった
✓　コーディネーターとしてのビジネスモデルを具体化し、補助金なしで自走できるプランの提案を早急に整える必要性が出てきた（ヘルパー派遣を引き継ぐ事業所が出てきたため）
✓　これまでのシェアオフィスが大家さんの意向により、移転が余儀なくされたことにより、移転・改修中（折立）。場所が移転しても、コアとなるコーディネート業務が途切れないように、UBUNTO・MOTTOで助成終了後も協働して取り組む必要がある
✓　仙台市以外の地域（大和町、富谷、柴田町など）でもニーズが上がっているので行政・事業者にアプローチしていく必要がある